

☆ きのご観察会を行いました(10月9日) ☆

今年で5回目の「きのご観察会」。講師にきのごアドバイザーの衛藤慎也先生を迎え、62名の方にご参加頂きました。今年はやや乾燥しており、きのこの数も少な目でしたが、種類はおもしろいのが出てきました。マンネンタケの仲間の「マゴジャクシ」やアカマツ林に生える「ハツタケ」など、名前が分かったものだけで27種見つかりました。これは自然観察園が開園してからの過去4回で最多。今回を含め48種のきのこの発生を確認できました。今度はどんなきのごに出会えるのか、来年も楽しみです。



「ハツタケ」



今年も出てきた「サクラシメジ」



「トキイロラッパタケ」



マンネンタケのなかま「マゴジャクシ」

【今回見つかった名前がついたきのこ】

<食べられる>

サクラシメジ、アマタケ、ハツタケ、トキイロラッパタケ、カノシタ、オオキツネタケ、
ウスムラサキホウキタケ、ウラベニホテイシメジ、ムラサキアブラシメジモドキ

<食べられるが注意が必要>

ヌメリイグチ、ホコリタケのなかま

<有毒>

クサウラベニタケ、ニガクリタケ、コタマゴテングタケ、ドクツルタケ、フクロツルタケ、
サマツモドキ、オニタケのなかま、ドクベニタケのなかま、

<その他>

チャツムタケ、マゴジャクシ、ミキイロウスタケ、シハイタケ、オオギタケ、カワラタケ、ヒイロタケ、
シロハツ